

## ヨード造影剤とビグアナイド系糖尿病薬との併用注意について

岩手県立一戸病院

ビグアナイド系糖尿病薬とヨード造影剤の併用により乳酸アシドーシスをきたすことがあるため併用注意とされています。原因は、ヨード造影剤の投与により一過性の腎機能低下をきたす可能性があり、その結果、ビグアナイド系糖尿病薬の腎排泄が減少し血中濃度が上昇するためと考えられています。そのため患者様に糖尿病薬の服用を一時的に中止していただく必要があります（ただし、緊急に検査を行う必要がある場合を除く）。

ビグアナイド系糖尿病薬の添付文書ではビグアナイド系糖尿病薬の投与自体が、「中等度以上の腎障害で禁忌」とされており、また、「ヨード造影剤を用いて検査を行う患者においては、本剤の併用により乳酸アシドーシスを起こすことがあるので、検査前は本剤の投与を一時的に中止すること（ただし、緊急に検査を行う必要がある場合は除く）。ヨード造影剤投与後 48 時間は本剤の投与を再開しないこと。投与再開時には、患者状態に注意すること」と記載されています。

欧米のガイドラインでは、腎機能が正常で特に合併症がない場合、ヨード造影剤を用いた検査の前にビグアナイド系糖尿病薬の休薬をすすめるものではありません。

「腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン 2018」では、「ヨード造影剤を投与する場合には、緊急検査を除きビグアナイド系糖尿病薬を一時的に休薬するなどの、適切な処置を行うことを推奨する」とされています。

これらを元に、当院の対応を以下のものとする。

eGFR	休薬期間
60ml/min/1.73m <sup>2</sup> 以上	・検査前の休薬はなし。ただし、患者背景(高齢者、やせ、その他合併症)がある場合などは、検査前48時間の休薬を指示して下さい ・検査後48時間の休薬
30ml/min/1.73m <sup>2</sup> 以上 60ml/min/1.73m <sup>2</sup> 未満	・検査前48時間と検査後48時間の休薬 ・投薬再開は、診療後、必要が認められれば採血を指示して下さい
不明あるいは 30ml/min/1.73m <sup>2</sup> 未満	・原則造影検査は行いません

参考文献：腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン 2018

作成：令和4年4月